

湖上探勝

船から見る風景は、陸上からとは視点が変わり、新鮮なものだ。支笏湖では4月から11月はじめまで、遊覧船が運航する。水中の景観を探勝するための水中観光船もある。洞爺湖は遊覧船が通年定期運航し、夏は中島に上陸できる。支笏湖と洞爺湖のキャンプ場周辺などでは、自然との一体感を楽しむカヌーの利用も増えてきている。



遊覧船（支笏湖モラップ付近）

自然を楽しむビューポイント

公園内をめぐる道路の沿線からは、湖水と森林のさまざまな表情が楽しめる。

支笏湖エリア

ポロピナイ支笏湖展望台：札幌市と支笏湖を結ぶ国道453号の支笏湖北岸にある。支笏湖と樽前山の展望台。

オコタンベ湖展望台：国道453号から分かれて美笛に抜ける道道沿いにある。恵庭岳の西に静まるオコタンベ湖の展望地点。

美笛峠展望台：支笏湖の西にある国道276号の展望台。樹海の先に支笏湖が姿を覗かせる。

定山溪エリア

豊平峡ダム展望台：ダムサイトの展望台から下流の豊平峡が見事である。

中山峠：札幌と洞爺湖を結ぶ国道230号にあり、羊蹄山や定山溪周辺の連山が一望できる。

洞爺湖エリア

観湖台（洞爺湖町）：洞爺湖北岸の国道の近くにある展望台。洞爺湖と有珠山、昭和南山が一望できる。

オロフレ峠（旧道）：標高930mあり、洞爺湖や羊蹄山、噴火湾が樹林越しに望める。



オコタンベ湖展望台



美笛峠展望台



豊平峡ダム展望台

釣り

北海道ではヒメマスを一般に「チップ」と呼ぶ。アイヌ語のカパチェブが詰まったものである。支笏湖に導入された経緯は別項(p11)にあるが、現在も支笏湖のチップ釣りは人気が高い。支笏湖の静穏な環境と水生植物をまもるため、動力船の乗り入れは許可制になっている。



チップ釣り

雪上の自然観察

スノーシューやクロスカントリースキーを履けば、動物の足跡を探したり、野鳥を観察したり、雪の上を自由に歩いて冬の自然を楽しめる。支笏湖ビジターセンターで、スノーシューハイキングなどを行っているほか、洞爺湖・有珠山周辺や羊蹄山麓でも民間会社がガイドツアーを行っている。

スキーリゾート・ニセコ

羊蹄山の北西方にはニセコ連峰があり、その北方の小樽周辺の海岸を合わせて国定公園に指定されている。ニセコアンヌプリを主峰として東西に延びる標高1,000~1,300mほどの山群である。北海道でも積雪量の多い地域で、ササ原の多いなだらかな地形と、気温が低く雪質の良いことから、スキー場としての評価が極めて高い。

近年は海外にまでその存在が知られ、特に季節が日本と逆で時差の少ないオーストラリアからのスキー客が増加している。山麓には温泉が多く、これらを基地とする登山も盛んである。



ニセコ東山スキー場

公園内のキャンプ場

キャンプは自然と身近に接するよい手段だ。公園内には要所にキャンプ場が整備されている。

支笏湖エリア

モラップ：公園内で最も歴史のあるキャンプ場。支笏湖畔で一番大きく、設備も整っている。

美笛：湖畔の林の中にあるモビレージ式キャンプ場。テントサイトまで車で入れる。**ポロピナイとオコタン**：ともに支笏湖北岸にある静かなサイト。

洞爺湖エリア

財田：自然体験ハウスに隣接している。一部オートキャンプにも対応している。**仲洞爺、滝の上**：湖の東岸に面した林の中にある。



モラップキャンプ場



ソウベツ川遊び（財田キャンプ場付近）

月浦（グリーンステイ洞爺湖）：湖畔のオートキャンプ場として整備されている。

羊蹄山エリア

真狩登山口、半月湖：主に登山者のベースとして使われていたが、近年はキャンプ自体を楽しむ利用も増えている。



ポロピナイキャンプ場

定山溪エリア

定山溪自然の村：豊平峡温泉の奥にある札幌市民の自然体験のための拠点施設。自然体験のプログラムも行われている。

